

岩 柳

柳井と弘前 金魚が結ぶ縁

まよひじさん

ねぶた



柳井市の金魚ちょうちん(左)と、由来となった弘前市の金魚ねぶた(右)を見比べる山近副会長

祭りて民芸品飾る ■ 歴史学ぶ講演会

金魚の民芸品を通じて、柳井市と青森県弘前市の住民団体などが連携を強めている。柳井市に伝わる金魚ちょうちんの由来は弘前市の金魚ねぶた。お互いの地元の夏祭りて民芸品を飾り合い、講演会を開き相手の歴史を学び、観光交流も図る。(堀晋也)

金魚ねぶたは、江戸幕府への献上品だった弘前藩の金魚を庶民が楽しめるよう作られたあんどんが発祥。幕末に北前船で広まった。今年2月、柳井市の白壁の町並みを守る会が市内てこうした歴史を学ぶ講演会を開いた。講師として招いた弘前文化財保存技術協会の今井三夫代表理事(71)との交流が連携のきっかけとなった。

大小80基のねぶたが通りを練り歩く弘前ねぶたまつり(8月1〜7日)。今年は期間中の1〜3日、ねぶたが集まる通り前のギャラリーに金魚ちょうちんがたくさん並ぶ予定だ。守る会の山近副代表(69)の講演もある。山近副会長は「縁を契機に柳井の魅力を東北に伝えたい」と話す。

これに先駆けて今年3日、同協会会員が柳井市の井原健太郎市長を訪問した。同市を紹介する資料を収集。白壁の町並みなど中心部を約4千個が彩る柳井金魚ちょうちん祭り(8月3日点灯式、13日本祭り)に、金魚ねぶたを初めて飾る。祭りの協議会理事で、守る会会員の木阪泰之さん(56)は「北前船の交流のように活発な関係をまず住民レベルで築きたい」と話している。

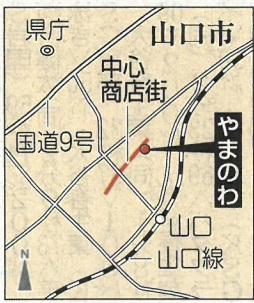
岩国総局 08827(2)16780 FAX(2)17745
柳井支局 08820(2)0247 FAX(2)40012
玖珂支局 08827(8)40266 FAX(8)30001
大島支局 08820(7)20212 FAX(7)90005

のおいしさ と挟んで

Uターン夫婦がカフェ



野菜やハムなど加工品を挟んだパンを客に手渡す山田さん(左)



町で過ごした。商社マンとして東京で働く中、故郷のことが知られていないのを

古地図
謎解き
28日
岩国市は
午後0時
旧山陽道
を巡る町
歩き

周防大島で生まれた晩かん類 「南津海」40周年祝う

周防大島
かん類「南
津海」40
周年を記念
が、同町久
習のむらで
た同町東安
弘三さん(72
南津海を用
エなど多彩
があった。
山本さんは
低迷を打破

残念に思っ
を訪れる人
のをもっと
年7月に移
生産者を訪
子の具を選
は「コッパ
口の特産品
てほし「
ける。